

平成26年7月25日

**平成26年度「産学連携評価モデル・拠点モデル実証事業  
(モデル構築・モデル実証事業)」に採択されました**

経済産業省の平成26年度「産学連携評価モデル・拠点モデル実証事業(モデル構築・モデル実証事業)」に、下記の本学の取り組みが採択されました。

本事業は、我が国の経済成長の源泉であるイノベーションを継続的に生み出すためには、客観的な評価に基づくPDCAサイクルを廻す産学連携拠点の構築が不可欠との考えにより実施されるものです。

**【採択事業名】**

1. 総合大学の多様性を活用した産業基盤技術の革新による県内企業成長加速モデルの構築(モデル構築) (委託事業)・・・(13,181千円)
2. 金型技術のイノベーションを核とした県内製造業のグローバル競争力向上モデルの実証(モデル実証) (補助事業)・・・(9,960千円)

**【事業実施期間】** 平成26年度**【事業内容】**

広島大学はかねてより、地域企業に密着して、人材育成から商品企画、開発・設計、生産、市場の課題解決など企業の事業プロセスのあらゆるフェーズを支援することを目的として、「広島大学産学官連携推進研究協力会」を組織し、活動を推進しています。

本事業では、この活動モデルを、密着支援型産学連携拠点モデルと位置づけ、その評価指標を構築して活動を定量評価することにより、会員と一体となってPDCAを廻し、持続的なイノベーションに繋がります。

具体的には、モデル構築事業では、「企業からの相談を起点とする産学連携モデル」と「大学のシーズを起点として複数企業に応用展開する産学連携モデル」の二つに主に着目し、対応する評価指標を設定し、これまでの広島大学の実績に指標を当てはめてその妥当性を検証します。

また、モデル実証事業では、広島大学が立地する地域産業の共通課題である、金型製造プロセスのイノベーションを目指して、レーザーによる樹脂用金型表面の非接触クリーニング技術と現状困難な透明樹脂間のレーザー溶接技術の開発に取り組みます。

地域企業を中心に金型コンソーシアムを形成して、本技術を開発し、それを、幅広い分野で応用展開していくプロセスにおいて、上述の評価指標を実証する予定です。

**【お問い合わせ先】**

産学・地域連携センター 副センター長 橋本 律男  
TEL:082-424-4307 FAX:082-424-6189

## (参 考)

### ◆ 経済産業省

#### 「産学連携評価モデル・拠点モデル実証事業（モデル構築・モデル実証事業）」概要

産学連携拠点において、産業界と連携しつつ、各拠点の特色を踏まえた産学連携活動の評価・実績に基づくPDCAサイクルのモデルを構築するとともに、産学連携拠点における産学連携や人材流動化を促進させる等の制度改革等を実行するための具体的計画を策定し、産学連携拠点としてのモデルを構築することにより、連続的なイノベーション創出を促進することを目的として経済産業省が実施する事業。